

# 平成21年度の決算

市では皆さんに納めていただいた税金をはじめ、国・県の補助金や借入金などを基に行政運営を行っています。平成21年度に比べた際の費用をこのように使ったかについて、市の決算としてお知らせします。

## 一般会計の決算

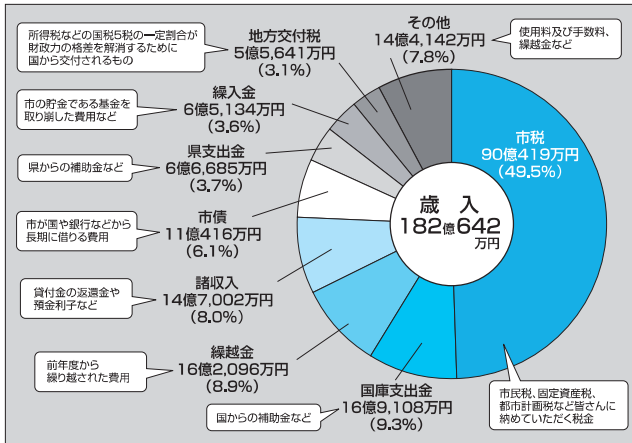
平成21年度一般会計決算は、収入(収入)が182億642万円、支出(支出)が171億5,921万円でした。差引(差引)は11億0,721万円の黒字でしたが、その内訳は平成21年度で完了しなかったため平成22年度で引き続き実施する事業等に使う財源3億4,995万円が含まれています。

これを差し引いた実質的な平成21年度の収支は7億4,227万円の黒字となります。

収入・支出の内訳は左図のとおりです。

◆収入(地方交付税が増加)  
収入の約5割を占める市税は、景気低迷の影響などにより平成20年度に比べて3,107万円(0.3%)減少しました。

地方交付税は、人口が増えたことなどにより平成20年度に比



べて8,857万円(18.9%)増加しました。

主な一般財源の推移は左下図のとおりです。

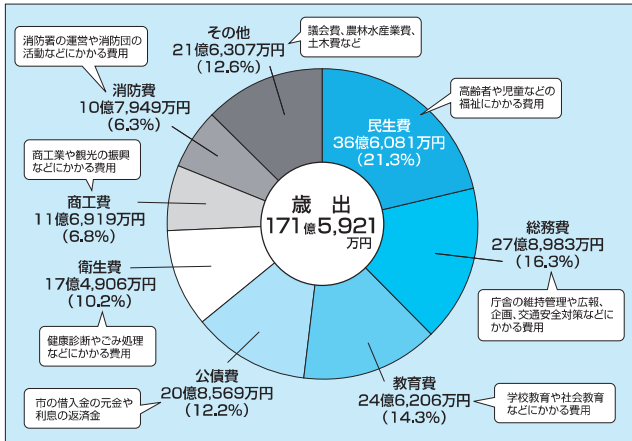
◆地方交付税とは  
市税や地方交付税など使用に指定がなく、市が自由に使える収入をいいます。

◆歳出(商工費が増加)  
歳出は、商工費が定額給付金事業の実施などにより平成20年度に比べて10億2,133万円(690.7%)増加しました。

教育費は、平成21年度に白井第一小学校は2校の体育館改修工事などを行いました。清水小学校校舎改修などが平成20年度に完了したことにより、平成20年度に比べて3億6,771万円(13.0%)減少しました。義務的経費全体では、市の借入れの返済金である公債費が繰り上げ償還を行ったことにより4億9,084万円(24.4%)増加したため、7億9,989万円(11.8%)増加しました。

義務的経費の推移は下図のとおりです。

◆義務的経費とは  
市の歳出のうち人件費、公債



## 市の財産

平成21年度末で市が保有する土地や建物などの財産は、下表のとおりです(一般会計以外財産を含みます)。

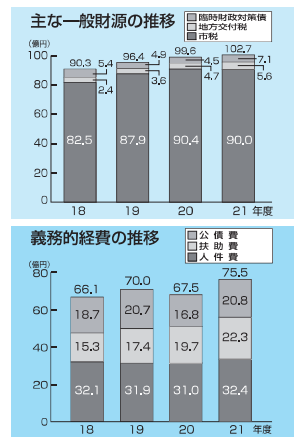
項目	数量	
土地	942,164㎡	
建物	145,833㎡	
有価証券	3億7,226万円	
出資による権利	3億8,051万円	
自動車	83台	
基金	土地	42,912㎡
	現金	32億7,804万円

地方債の残高  
地方債は、将来にわたって市民が利用する道路や公共施設の建設などの費用を、現在の市民だけでなく将来の市民にも負担してもらうことが公平である場合に、県が同意などをした後に金融機関などから借り入れる市の借入金です。

一般会計の平成21年度末の残高は下表のとおり131億8,494万円で、平成20年度に比べて6億8,213万円減少しました。

区分	平成21年度末	平成20年度末	差引
総務費	71億4,337万円	66億9,152万円	4億5,185万円
民生費	9億7,051万円	11億165万円	△1億3,114万円
衛生費	4億2,367万円	4億3,804万円	△1,437万円
土木費	2億3,880万円	2億8,700万円	△4,820万円
消防費	5,643万円	7,811万円	△2,168万円
教育費	43億5,216万円	52億7,075万円	△9億1,859万円
合計	131億8,494万円	138億6,707万円	△6億8,213万円

※△はマイナスを表します。



◆財政調整基金残高  
市の貯金である財政調整基金

市は類似団体平均を上回っていますが、平成20年度と比べて数値は低下しています。

◆財政力指数  
各自自治体の人口・面積や特性などから判断して標準的に見込まれる税金などの収入が、標準的に必要な経費に占める割合をいいます。この数値が高いほど財政力が高いことを示し、数値が単年度で1を超えると普通交付税が交付されなくなる「不交付団体」となります。

項目	平成21年度	平成20年度	類似平均団体(平成21年度)
経常収支比率	94.5%	94.3%	92.2%
財政力指数(3カ年平均)	0.954	0.967	0.877
財政調整基金残高	17億2,372万円	20億381万円	20億8,599万円

◆経常収支比率  
人件費や公債費など毎年度決まって支払う額が、市税や普通交付税など毎年度決まって収入される一般財源に占める割合をいいます。この数値が高いほど臨時的・突発的な支出に対応する費用が少ないことを示し、財政に余裕がないことを表します。

市は類似団体平均を上回っており、平成20年度と比べて比率が上昇しています。

◆財政課財政  
内線3331・2・7

## 市の財政状況の分析 ～類似団体との比較対象～



市の財政状況における各年度の数値および類似平均団体の数値は、左下表のとおりです。

◆類似団体平均とは  
類似団体平均は、人口規模や産業構造が類似している県内の自治体(銚子市・館山市・茂原市・東金市・君津市・富津市・袖ヶ浦市・八街市・印西市・富里市・香取市・山武市・白井市)の単純平均です。

市長コラム  
**Sharing**  
～共にすすむ～

1歩1歩前進

市長 横山久雅子



情報公開コーナーでどうぞ

早いもので市長就任から2年が経ちました。選挙の時に「市政情報の積極的な開示」をマニフェスト(公約)にしました。市民参加は情報の共有が前提となりますので「求められなくても情報公開」を心掛けたものです。

その1つとして、今年7月よりメールマガジンの発行を始めました。市ホームページ上の「安心・安全メール」に登録することによって、ホームページの新たな情報項目を誰でも「お知らせ」として受信できます。受信したメールの中に関心のある「お知らせ」があればホームページで詳細を確認できますので、ぜひ登録してください。

次に今年から「予算編成過程からの情報公開」を始めました。すでに来年度の予算編成作業が始まっており、各課からあがった予算の要求額は発表済みです。今後は財政課による査定段階と市長の査定段階での予算情報がホームページや市役所1階の情報公開コーナーで見ることが出来ます。

市では初めての試みですので、まずは見ていただきたくお願いいたします。

お知らせコーナー

秋の叙勲

叙勲は国や公共に対し功勞のあった人、社会の各分野において優れた行いのあった人などに授与されるものです。

瑞宝双光章 清澤三郎さん

(元国鉄鉄道研究所信号通信主任研究員・堀込在任)

瑞宝単光章 横山謙次さん

(区内閣府技官・七次台在任)

分かりやすく家計簿にしてみました  
(市民1人当たりの平成21年度決算)

下表の家計簿を見ると給料やパート収入の中から食費・医療費・学費やローンの返済を支払うと、残りは約3万円となります。日用品・光熱水費や自治会費などを支払うためには、親からの援助や貯金の取り崩しに頼らなくてはならない状況です。今後もローンの返済は続きますが不況の影響などで給料が減り、一方で医療費が増えていくことが予想されるため収入に見合った生活設計を行う必要があります。

収入

区分	決算上の区分	金額
給料	市税	14万9,239円
パート・家賃収入	使用料・手数料など	9,040円
親からの援助	地方交付税など	6万3,088円
銀行からの借り入れ	市債	1万8,301円
貯金の取り崩し	繰入金	1万796円
前月からの繰り越し	繰越金	2万6,866円
雑収入	諸収入など	2万4,431円
合計		30万1,761円

支出

区分	決算上の区分	金額
食費	人件費	5万3,696円
医療費・学費	扶助費	3万6,901円
ローンの返済	公債費	3万4,569円
日用品・光熱水費	物件費	3万5,149円
屋内の修理	維持補修費	716円
自治会費	補助費等	5万8,642円
子どもへの仕送り	繰出金	2万3,262円
預金	積立金	3,311円
株式の購入	投資及び出資金など	1,320円
家の増改築	普通建設事業費(災害復旧費含む)	3万6,838円
合計		28万4,404円
翌月への繰り越し		1万7,357円
貯金残高		2万8,570円
借金残高		25万7,168円

※人口 60,334人(平成22年3月31日現在)

平成21年度に実施した  
主な事業

(1) 安心して子育てできるまちを築く

小学校体育館の改修 2億1,499万円

児童が活動しやすい安全な教育環境を整備するため、白井第一小学校・白井第二小学校・大山口小学校の体育館の耐震補強と改修工事を行いました。

小学生の入院に係る医療費の助成 96万円

小学生の子どもを持つ保護者の経済的な負担を軽減するため、入院費用に係る助成の対象を小学校就学前の子どもから小学生に拡大しました。



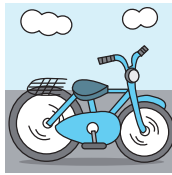
(2) 安心して暮らせるまちを築く

駐輪場の整備 4,666万円

自転車などを利用する人の利便性と駅前景観の向上を図るため、白井駅と西白井駅の周辺に駐輪場を一部整備しました。

障害者支援センターの整備 1億1,742万円

障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう市内における日中活動の場の確保を図るため、旧南山保育園を改修し障害福祉支援の核となる障害者支援センターを整備しました。



(3) 健康で暮らせるまちを築く

健康増進計画の策定 340万円

市民の健康増進を推進するため、平成20年度から平成21年度にかけて健康増進計画(しろい健康プラン)を策定しました。



(4) 元気に活躍できるまちを築く

コミュニティ施設の整備 620万円

旧中央公民館を取り壊し第1地区の地域コミュニティの核となる施設を整備するため、実施設計を行いました。



(5) みどり豊かで快適なまちを築く

住宅の耐震改修事業 21万円

災害に強いまちづくりを推進するため、旧耐震基準により建築された住宅を対象とした耐震診断の実施に対して補助を行いました。

西白井駅バリアフリー化整備への補助 3,667万円

高齢者や障害のある人などが安全で円滑に鉄道を利用できるよう、北総鉄道線が行う西白井駅のバリアフリー化(エレベーターなどの整備)に対し国とともに補助を行いました。



(6) 基本計画を推進するために

後期基本計画の策定 651万円

平成23年度から開始する後期基本計画を策定するため、基礎資料となる住民意識調査などを行いました。

一般会計以外

平成21年度の特別会計および企業会計の決算は下表(1万円未満を四捨五入しているため差引額が一致しない事業があります)のとおりで、6つの特別会計は赤字になりました。特別会計には一般会計からの助成がありますが、うち国が示した基準以外の助成額は介護保険事業勘定、後期高齢者医療、学校給食共同調理場事業は前年度と比べて助成額が減少しています。

特別会計			
会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業勘定	52億1,242万円	49億9,094万円	2億2,147万円
老人保健	1,351万円	1,106万円	245万円
介護保険事業勘定	20億1,934万円	17億9,099万円	2億2,835万円
後期高齢者医療	3億303万円	3億71万円	233万円
下水道事業	9億2,816万円	8億8,543万円	4,273万円
学校給食共同調理場事業	4億5,532万円	4億4,927万円	605万円

企業会計				
事業名	歳入	歳出	差引	
水道事業	収益的収支	3億9,963万円	3億8,383万円	1,580万円
	資本的収支	3,286万円	1億3,605万円	△1億318万円

※資本的収支の不足額は留保資金などから補てんしました。